



## 第12号の実践事例集のキーワードは、「連携」と「協働」です。

第12号の実践事例集のテーマは、次の通りです。

### 「今、求められる学校保健の推進

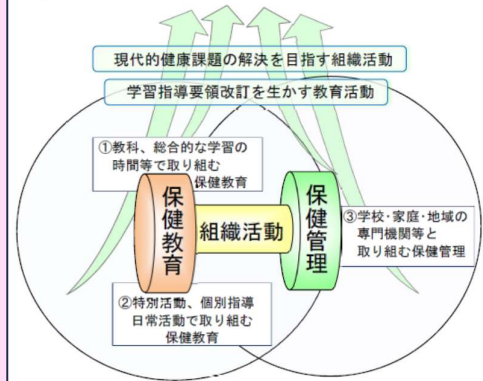
#### ～連携・協働を高める養護教諭の役割～

学習指導要領改訂を生かし、現代的な健康課題の解決を目指す組織活動の実践を掲載しています。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の仲間21人の学び多い実践を現在編集集中です。

その一部をダイジェストで紹介します。発行をご期待ください。

生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力の育成



## 幼稚園・小学校では、様々な「生活習慣改善」の連携がすすめられています。

### <幼稚園>

#### 「基本的な生活習慣の形成を目指した 幼児と保護者に向けた取組」



育てたい姿と就学までに身につけさせたい5つの生活習慣（食事睡眠、排泄、清潔、衣服の着脱）に焦点を当て、保護者への啓発を継続的に取り組んだ実践です。幼少期から小学校への連携が求められる中、その手がかりになる視点は必見です。

### <小学校>

#### 「『体力向上委員会』と連携した 集団指導と個別指導」

- ① 発育測定時の「すくすくタイム」の指導
  - ② 長期休業中の「すくすくチェックシート」の取組
  - ③ 体育科保健領域の学習活動
- この3つの取組を連携させ、保護者を巻き込んだ活動につなげた実践です。



## 歯と口の健康づくりは、高校と特別支援学校の実践が報告されています。

### <高等学校>

#### 「歯と口の健康診断の効果的な事後対応と 歯科医と連携した歯科講話」

健診後の事後措置の工夫で受診率の向上を目指すとともに、生徒の意識変容・意欲の向上を目指して、歯科医と連携して取り組んだ「歯科講話」の実践が紹介されています。生徒の興味関心の変容が感じとれます。



### <特別支援学校>

#### 「児童生徒の障害・発達段階 歯と口の課題に合わせた集団的個別指導」



一人一人の状態や課題に合わせた歯みがきの習得を目指し、学校歯科医・歯科衛生士と連携した実践です。教材や指導方法にも工夫を凝らした様々な活動と、継続した活動を支える個人カルテによる共有の有効性も紹介されています。